



ロータリーは機会の扉を開く

高岡
北
ロータリークラブ
TAKAOKA-NORTH
ROTARY CLUB



例会日・毎週月曜日 12:30～13:30
例会場・ホテルニューオータニ高岡

創立・1980年5月19日
認証・1980年6月12日
国内創立順位・1489

会長 野尻 信晴
幹事 吉谷奈艶子
会報委員長 魚住 晃一



第1811回 例会 5月10日(月)



◇点 鐘

◇国歌斉唱

◇ソング “四つのテスト”

◇ゲスト並びにビジターの紹介

ゲスト：アレッセ高岡 代表 青木 由香 様
米山記念奨学生 イクバル・トゥーバ 様

◇会長挨拶ならびに報告

皆さん、コロナワクチン接種の申込みは終わりましたか？案内が来なかった方は65才以下ということで喜んでください。私のところには案内が来まして、申し込もうと電話をしても全然繋がりません。パソコンでやると上手く繋がったという話を聞きます。

今日のゲスト、米山記念奨学生のイクバル・トゥーバさん、迷わずによくお一人でいらっしゃいました。また、アレッセ高岡の青木さま、ご来場ありがとうございます。アレッセ高岡は、外国人の子供たちに日本語で勉強を教えておられる団体です。私も入学しなければならぬかもしれません。

先日、結婚祝いが届きました。家の前にお祝いの花を届けに来た配達の方がいらっしゃったので、「その人最近離婚されたよ」と冗談を言ったら、「え～どうしよう！」と慌てておられました。まあ受け取りましたけれども、お花ありがとうございました。

◇イクバル・トゥーバさんに奨学金をお渡しする

皆様こんにちは。米山記念奨学金をいただきありがとうございました。パキスタン出身のイクバル・トゥーバと申します。富山大学医学部博士課程3年生です。日本で勉強させていただいていることは、大変恵まれていると感じております。

今後ともどうぞよろしくお願い致します。

ありがとうございました。



◇5月在籍表彰

宮田義弘君(30年)

◇5月結婚記念日祝い

野尻信晴君(4日48年) 紺谷司郎君(5日48年)
幸塚栄三君(5日36年) 魚住晃一君(5日20年)
数田 繁君(25日22年) 中村勝治君(28日46年)
板坂敏雄君(29日45年)

◇5月誕生日祝い

島 幸美君(11日62歳) 宮崎外男君(22日72歳)
魚住晃一君(23日47歳)

◇委員会報告

*魚住雑誌委員長より「ロータリーの友」5月号の紹介

◇幹事報告

- 1) 配布：①ガバナー月信NO.11(テーブル毎)
②会報NO.35(11)
③今後の例会開催方法について・例会出席基準チェックリスト

◇ニコニコBOX報告

野尻会長：結婚祝、花をいただきありがとうございます。
アレッセ高岡青木様、米山記念奨学生イクバル・トゥーバ様よくいらっしゃいました。今日はよろしくお願ひいたします

勝山 功君：五十嵐先生のところで、来週5月18日にコロナワクチン予防注射の予約が取れました。先生よろしくお願ひします。

幸塚栄三君：結婚祝いをいただきました。

魚住晃一君：結婚記念日及び誕生日お祝ひありがとうございます。

【今年度ニコBOX累計額 418,900円】

◇出席報告 出席者 20名 メイクアップ済 0名

名誉会員	会員数	本日の出席率	4/19 例会 修正出席率
1名	36名	66.67 %	93.75 %

◇本日のプログラム (担当：国際奉仕委員会)

卓話「これまでの活動紹介とアレッセ高岡が目指すもの」

アレッセ高岡 代表 青木 由香 様

いつもお世話になっております。高岡北ロータリークラブの皆様は活動をサポートしていただいて、5年目になります。これまでにシドニーさんとアイザックさんの日本語の指導をさせていただき、関係を深めてこられたことを大変嬉しく思っております。

これまでの活動紹介とアレッセ高岡が目指すものをお話し、皆様と思いを共有できたらと思います。

アレッセ高岡は、主に学習支援事業と多言語の教育情報支援の二本柱で活動を進めております。昨年度はコロナ禍ということで、オンライン学習支援をスタートしました。オンラインで外国の方と繋がり、カウンセリングなども行っております。また、多言語の教育学習資料を作っております。

アレッセ高岡の活動背景を説明いたします。高岡市の人口をみると、若い人が減り、高齢化が進んでおります。財政も苦しく、街中の空洞化も激しいです。高岡市自身が持続可能ではないと思います。一方で、富山県の児童生徒数の推移をみると、日本人の児童生徒数は減っていますが、外国人の児童生徒数は右肩上がりです。20年間で2.5倍に増えました。大人の数も同様です。

約10年外国ルーツの子供たちの学習支援を続けておりますが、日本人から外国人のサポートというスタンスでは、10年経ってもなかなか根本的な状況は変わらないと気付きました。持続可能ではない高岡を変えて新しい高岡を築いていくのは、ここで育つ子供たち自身であり、「私たち：彼ら」という二項対立ではなく、国籍・言語に関わらず、全ての「私たち」というスタンスでの活動でなくてはならないと思います。そのためには外国ルーツの子供たちだけではなく、日本人の子供たちも、また、子供たちを取り巻く地域の大人たちも変えていかないといけないと思いはじめました。

これまでの事業に加えて市民性教育をキーワードに昨年度から、新たな事業を展開しています。「CLD 青少年のための市民性教育プログラム」です。CLDとは文化的言語的に多様なという意味の頭文字をとったものです。このプログラムでは、旧来の事業に加えて市民性教育講座・フィルムフェスティバル・SDCs フォーラムという、大きく3つの仕掛けを作って外国ルーツの子供も日本の子供も一緒に地域の一員としての意識を高め、地域や世界の課題を自分のこととして捉えて、解決策を探ったり、自分たちの思いや声を様々な形を通して発信し、多くの人を巻き込みながら、具体的変革へと繋げていくことを目指しています。CLD 青少年のためのと銘を打っていますが、外国人・日本人の両方、地域に住むすべての人々が対象です。

具体的な活動は、昨年春、高校生・大学生を中心にアレッセ青年部を結成し、ワークショップやセミナーなどを行っております。3月にはSDCsに関するプレゼンコンテストをZoomにて行いました。

今年度は、アート表現活動として映画を作る活動を、プロの映画監督と一緒にやる予定です。

これらの活動を通してアレッセ高岡が目指すのは、様々な違いを超えて、ここ高岡でしか作れない私たちのふるさと一緒に築き上げていくことです。高岡に住んでよかったと思える地域活動をしていきたいと思っています。



=5月定例理事会の報告 =

1. 新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドラインについて・・・承認

2. 今後の例会について

・新型コロナウイルスに関して、緊急事態宣言が、感染拡大地域に発令され、富山県でも判断基準がステージ2に引き上げになったため、今後の例会をどのような形で行うか

5/10：卓話 アレッセ高岡様

※補助金・奨学金を渡すため短縮例会(弁当配布)

5/17：クラブ創立記念例会→通常例会 (Zoom)

5/24：青少年奉仕月間に因んで

→クラブフォーラム (Zoom)

5/31：クラブフォーラム

→卓話 永田メディカル 仙石祥枝様 (Zoom)

※以下の例会開催方法については、5/24 (月) 理事会にて決定

6/7：会員卓話 (前田央会員)

6/14：卓話 富山博子 様

(出席委員会：島委員長)

6/21：最終夜間例会 (親睦活動：上田委員長)

6/28：例会取消

*富山県の判断基準は4/23 (金) よりステージ2へ引き上げ

*感染拡大地域への緊急事態宣言は5/11 (火) まで→5/31 (月) まで延長するよう政府から要請あり

*別紙ガイドラインに則って、富山県の警戒レベルを注視し、適宜対処する

・富山県の警戒レベルがステージ2のときの例会は①短縮例会 (弁当配布) ②全てZoomで開催③中止

→②とする

・創立記念例会は、クラブ承認日である6月へ延期してはどうか。5/17は①記念として少し高級な弁当を配布する短縮例会を開催②すべてZoomで開催③中止

→②とする

・最終例会 (通常例会開催予定) のときに、延期した創立記念例会もあわせて開催してはどうか。

→承認。開催方法は5/24 (月) 理事会にて決定